

長野県森林づくり県民税について

みんなで支える ふるさとの森林づくり

長野県林務部

目 次

- I 森林・林業の現状と課題
- II 森林づくりの取組状況
- III 森林づくり県民税の仕組み
- IV 森林づくり県民税活用事業

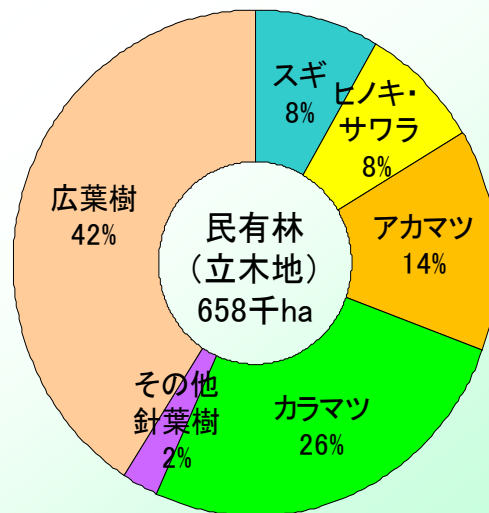
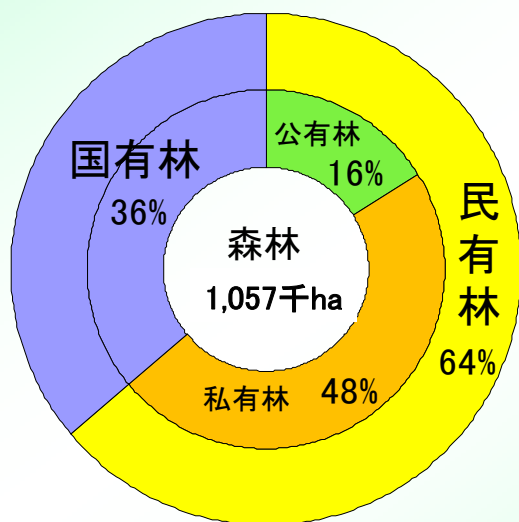
Ⅰ 森林・林業の現状と課題

「緑の社会資本」である森林

長野県の森林

- 森林面積 105万7千 ha (森林率 8割)
- 国有林 1/3 民有林 2/3

- 針葉樹 6割 広葉樹 4割
- 人工林率 48%



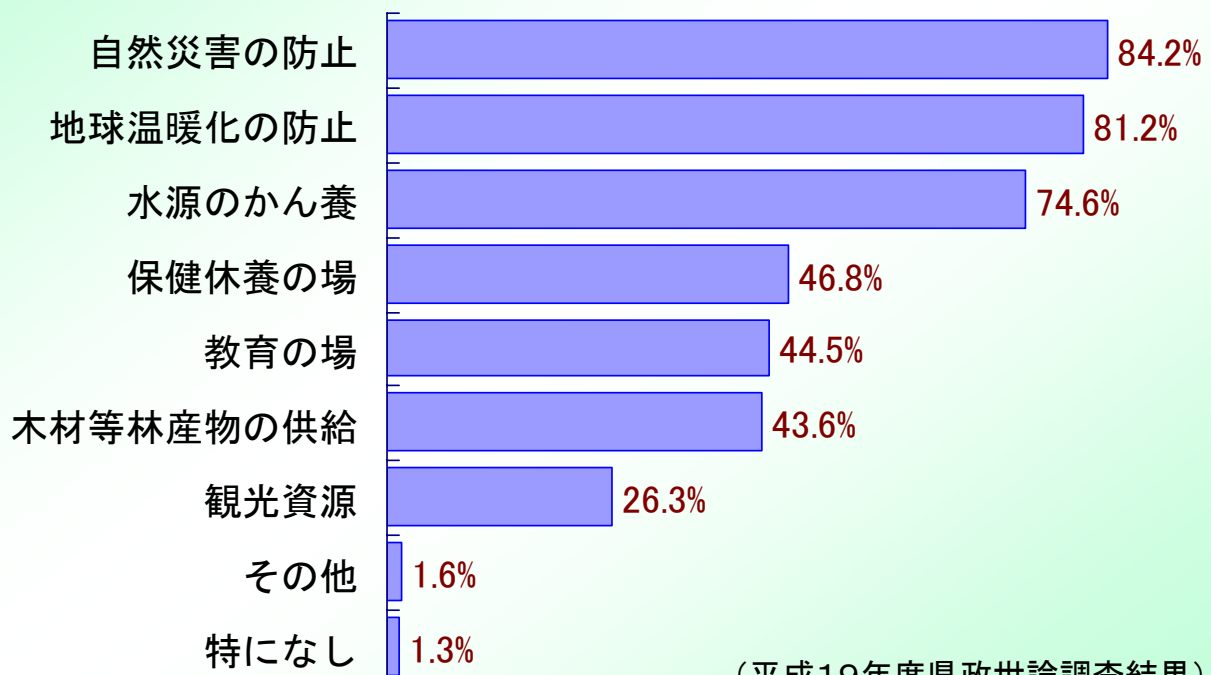
森林の果たしている役割

- 山地災害の防止等の県土の保全
- 水源のかん養
- 地球温暖化の防止
- 保健休養の場の提供
- 生活環境や自然環境の保全
- 木材等の林産物の供給 など

森林の多面的な機能

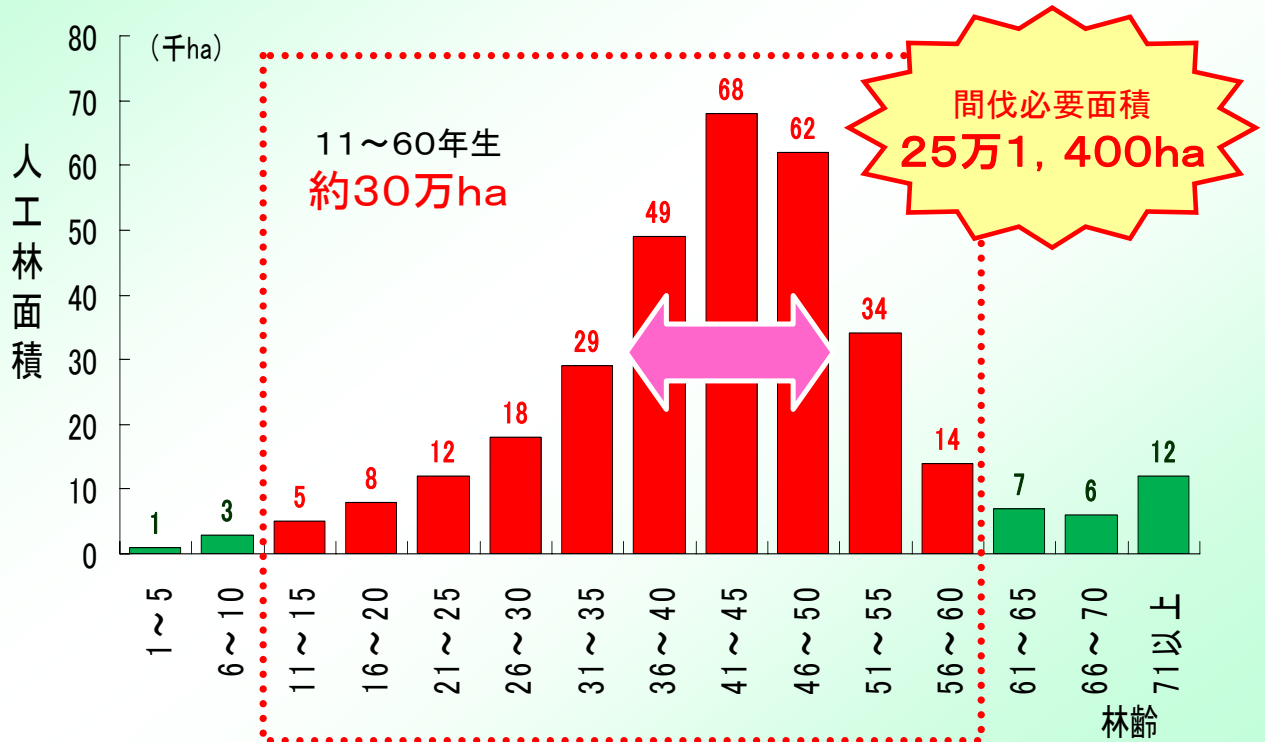
3兆681億円

森林に対する県民の期待

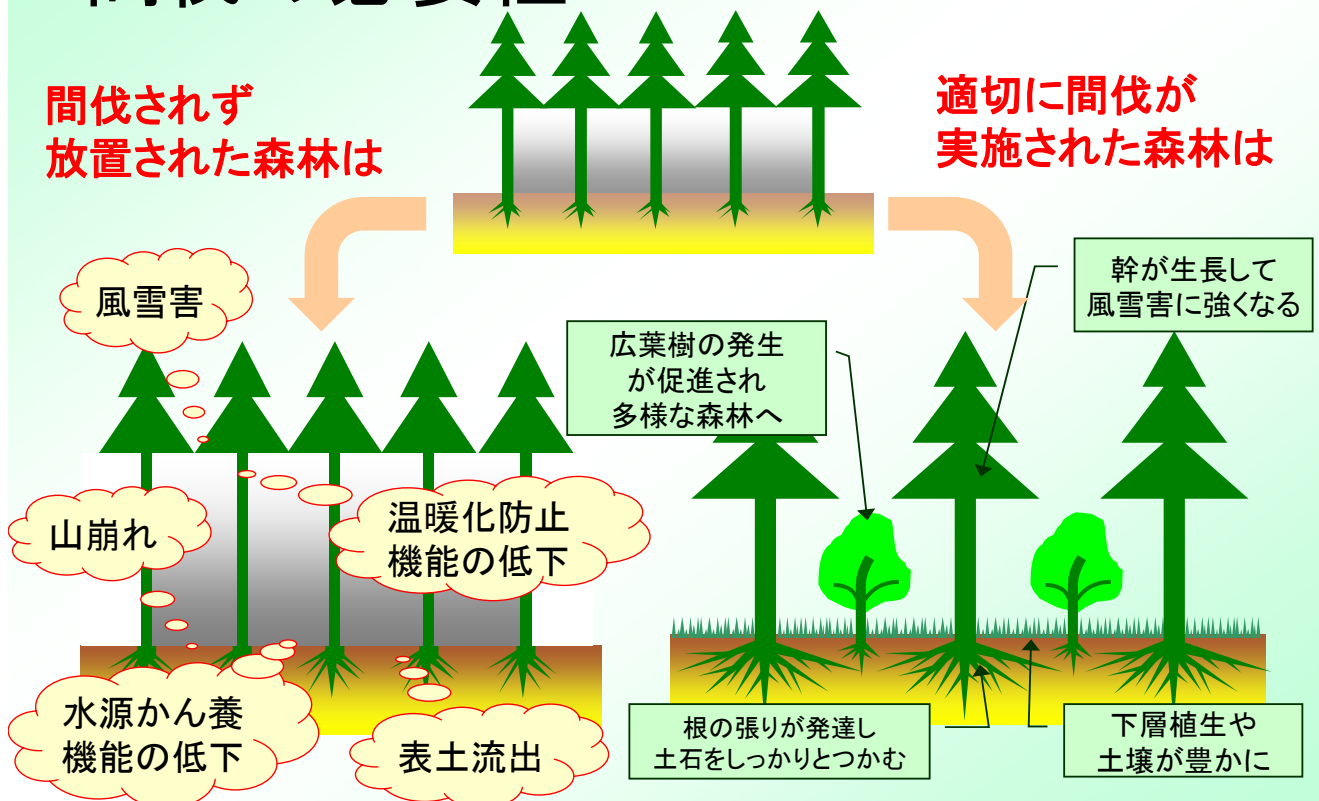


(平成19年度県政世論調査結果)

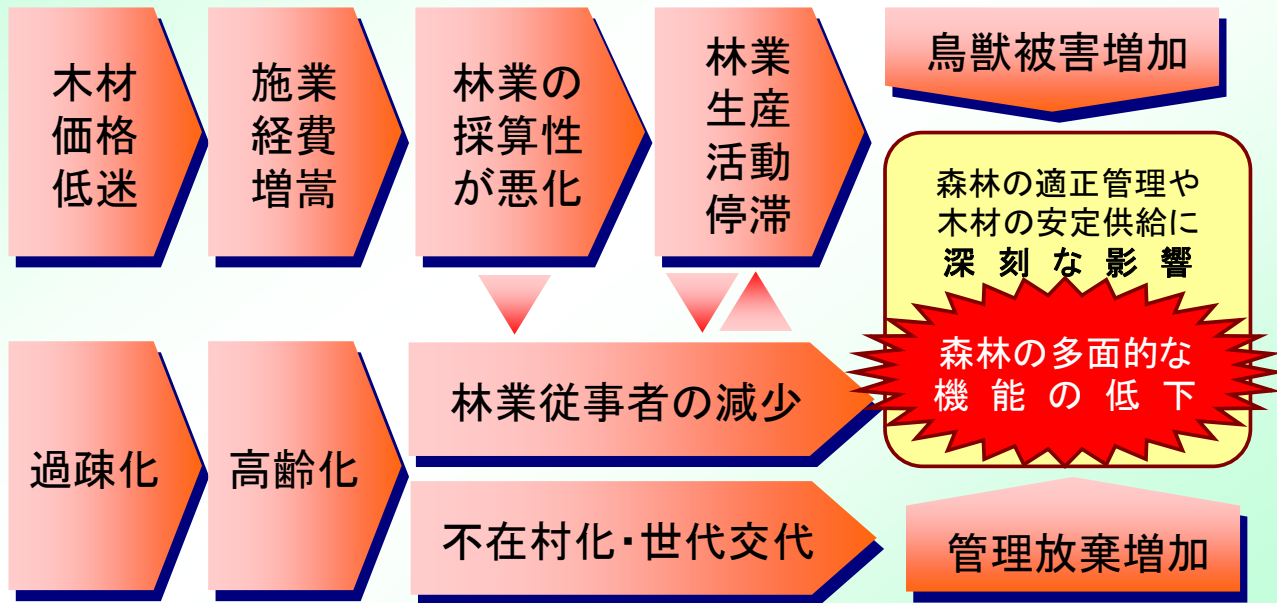
整備が必要な人工林



間伐の必要性



林業の現状と課題



II 森林づくりの取組状況

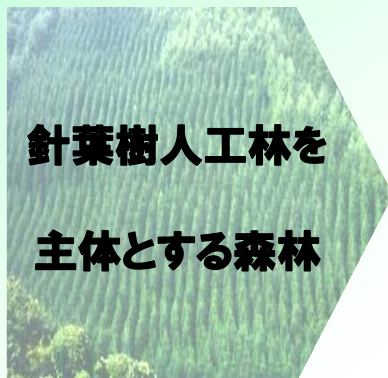
森林づくり条例の制定

森林が持続可能な社会を支える基盤であり、社会全体の共通の財産であることに かんがみ、その機能が持続的に発揮されるよう、それぞれの地域において、県民の理解と主体的な参加の下で、森林づくりを行う。

森林づくり指針の策定

本県の目指すべき森林の姿と、その実現に向けた森林づくりに関する施策を推進するための基本指針の策定

めざす森林の姿



長期にわたり資源が
循環する森林に誘導

針葉樹と広葉樹が適度
に混交する森林に誘導

針葉樹林、
広葉樹林、
針広混交林が
バランスよく配置された

**多様性の
ある森林**

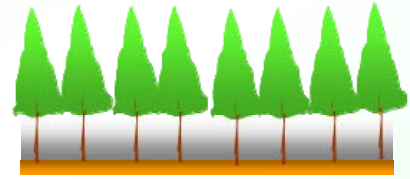
循環林

保全林

自然推移林

森林づくりの展開方向

第1段階（概ね20年間）
強度間伐を中心とした森林づくりの重点実施



第2段階（概ね30年間）
自然力を活かしつつ多様性のある森林へ誘導



50年後
整備・利用・再生等が循環する段階へ移行



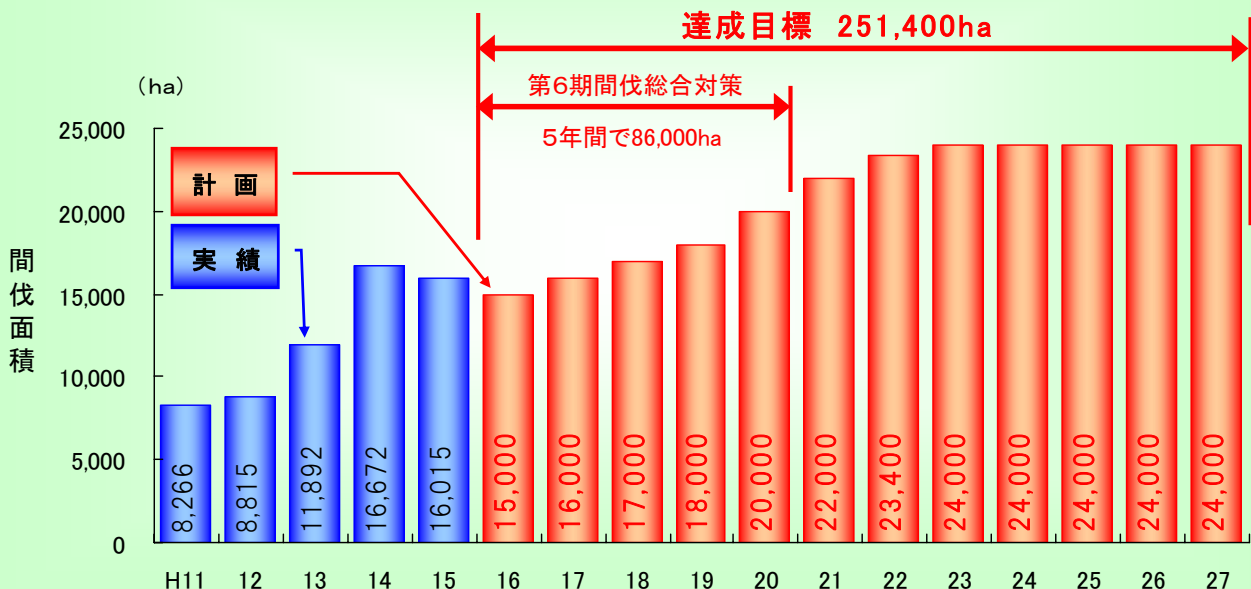
22世紀
針広混交林が成熟し、多様性のある森林に



信州の森林づくりアクションプラン



平成27年度までに長野県の民有林における間伐が必要な森林、
県土の5分の1にあたる251,400haすべてを手入れします。



信州の森林づくりアクションプラン

↑ 間伐材の搬出・利用を促進



◆高性能林業機械

整備台数 75台(H15)
→ 180台(H27)

◆素材生産量

年間 245千m³(H15)
→ 335千m³(H27)

◆木造住宅

(信州の木を50%以上利用し、助成等を活用)

年間 66戸(H15) → 1,000戸(H27)

◆ペレットストーブ

整備台数 150台(H15) → 3,700台(H27)

森林づくりを進めるにあたって

市町村や森林組合等との連携による働きかけや作業地の集団化

担い手の確保・育成

機械化や林内道路網等の整備

間伐材の利活用の推進

喫緊の課題である間伐の計画的な実施

自立的で循環的な森林経営

森林の多面的機能の持続的発揮と森林資源の循環利用

豊かな森林の恵みを楽しむ



Ⅲ 森林づくり県民税の仕組み

費用負担方法の検討

みんなで支える森林づくり

すべての県民が森林のもつ様々な機能の恩恵を享受

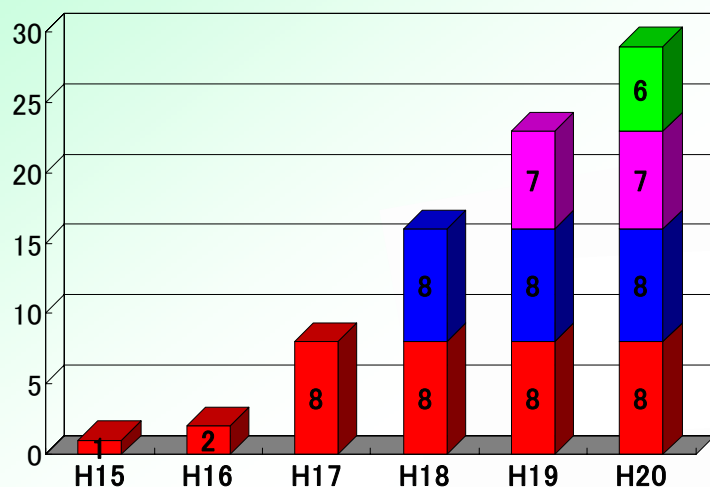
森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐために

県民全体で支える森林づくり

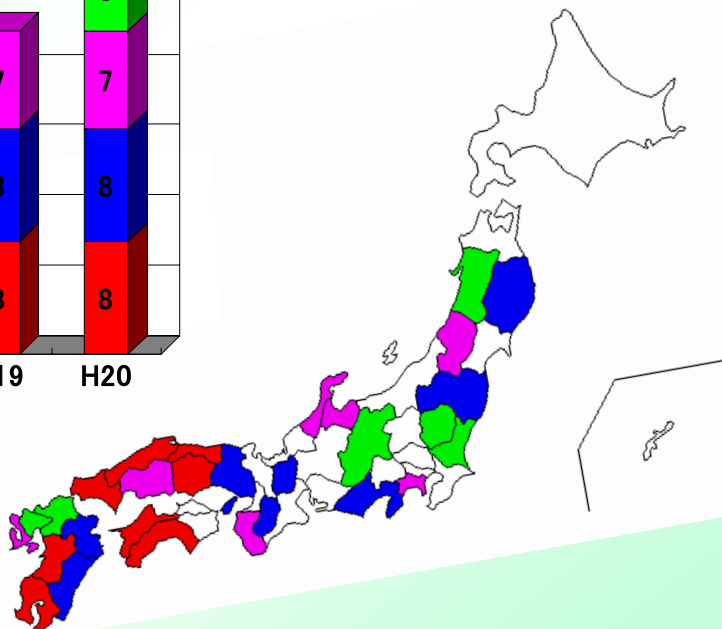
新たな費用負担
の方法として

県民税均等割
超過課税方式

森林整備等を目的とした独自課税の導入状況



県民税の
超過課税方式



長野県森林づくり県民税の概要

長野県森林づくり県民税の導入

- 名 称
長野県森林づくり県民税
- 仕組み
県民税均等割の超過(上乘せ)課税方式
- 導入時期
平成20年4月から

長野県森林づくり県民税の仕組み

■ 税 額

個人 年額 500円

法人 年額 均等割額の5%相当額

■ 税収規模（平年度）

個人 約5億4千万円

法人 約1億4千万円

計 約6億8千万円

長野県森林づくり県民税の仕組み

■ 納税義務者

個人 約110万人

法人 約5万5千法人

■ 実施期間

5年間

税導入の効果等を総合的に検証し

5年後に見直しを実施

長野県森林づくり県民税の仕組み

■ 税収と使途の管理

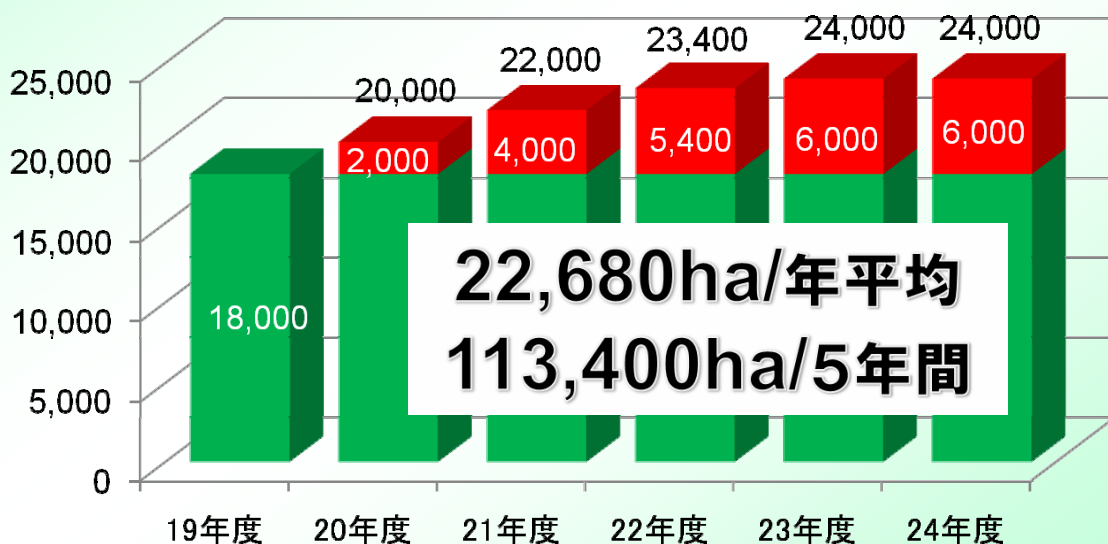
- ・ 長野県森林づくり県民税基金
- ・ 県内外から広く寄付金を受け入れ

■ 透明性の確保と検証

- ・ 積極的に情報公開を実施
- ・ 第三者機関の設置
(県民会議・地域会議)

長野県森林づくり県民税の活用

間伐を中心とした森林づくり





Ⅳ 森林づくり県民税活用事業

長野県森林づくり県民税活用事業の事業体系

みんなで支える
ふるさとの森林づくり

税活用 事業1

手入れの遅れた里山での間伐の推進

- みんなで支える里山整備事業
- 地域で進める里山集約化事業
- 高度間伐技術者集団育成事業

税活用 事業2

地域固有の課題に対応した森林づくりの推進

- 森林づくり推進支援金

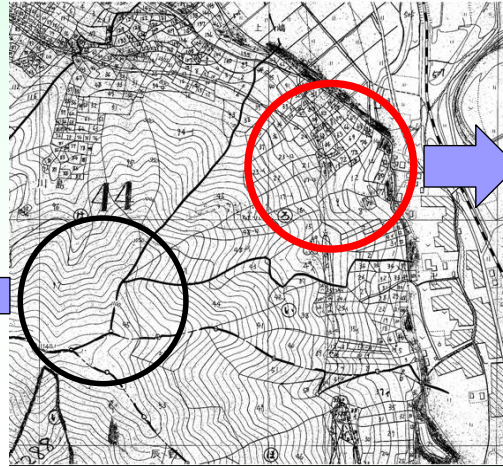
税活用 事業3

県民や企業の森林づくりへの参加等の促進

- みんなで支える森林づくり推進事業
- 木育推進事業

手入れの遅れた里山での間伐の推進

既存施策
を中心に
着実に
間伐を
推進



- 私有林が中心
- 零細・分散する所有形態



- 不在村化等で所有者や所有界が不明確



- 高齢級や耕作放棄地など入り組んだ森林

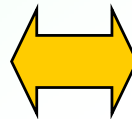


これまで整備が進めにくかった集落周辺の里山において、機能回復を図るための間伐等の森林づくりを面的に推進

手入れの遅れた里山での間伐の推進

森林所有者は

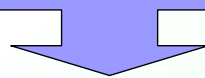
- ・ 森林の財産価値の低下
- ・ 境界が不明確
- ・ 林業経営の意欲減退



地域の里山は

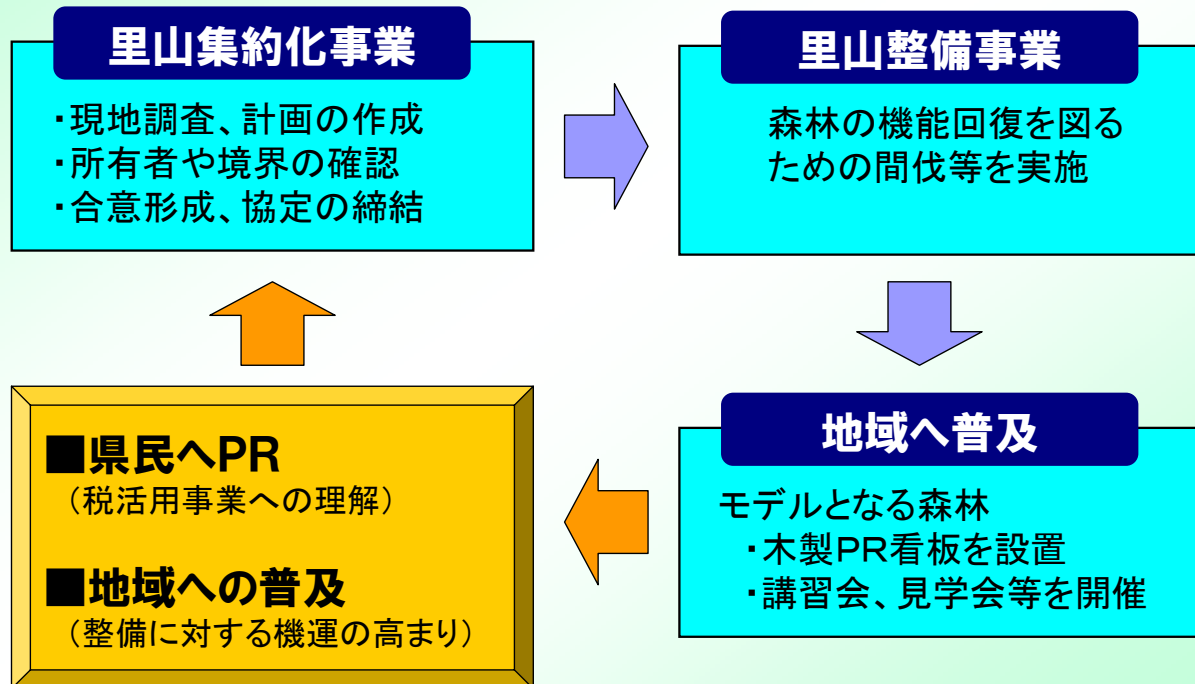
- ・ 集落周辺の里山の荒廃懸念
- ・ 野生鳥獣被害が年々拡大
- ・ 里山と住民の関係が希薄に

森林所有者任せでなく、地域ぐるみで取り組むことが必要な時



里山に接する集落が主体となって、森林所有者に呼びかけ、地域ぐるみで間伐事業地の集約化や同意を得る活動を支援

手入れの遅れた里山での間伐の進め方



地域で進める里山集約化事業

- 1 事業主体 自治会、山林委員会、森林組合等
- 2 対象事業 里山整備計画の樹立と森林所有者から整備の同意を得る活動に対して助成
- 3 交付金額 15,000円/ha
- 4 採択要件 団地的にまとまりのある区域で、施業同意取得が**10ha以上** 又は同意取得所有者数が**10名以上**

平成20年度 2,000ha、予算額 30,000千円

地域で進める里山集約化事業の進め方

1 里山の整備を地域として決定

2 整備する里山の区域を決める

3 現地調査を実施



4 里山整備計画を作成

5 森林所有者を確認

6 里山整備の説明会を開催

7 施業の同意書を取得

交付金を交付 ~ 円滑な森林整備実施へ

みんなで支える里山整備事業

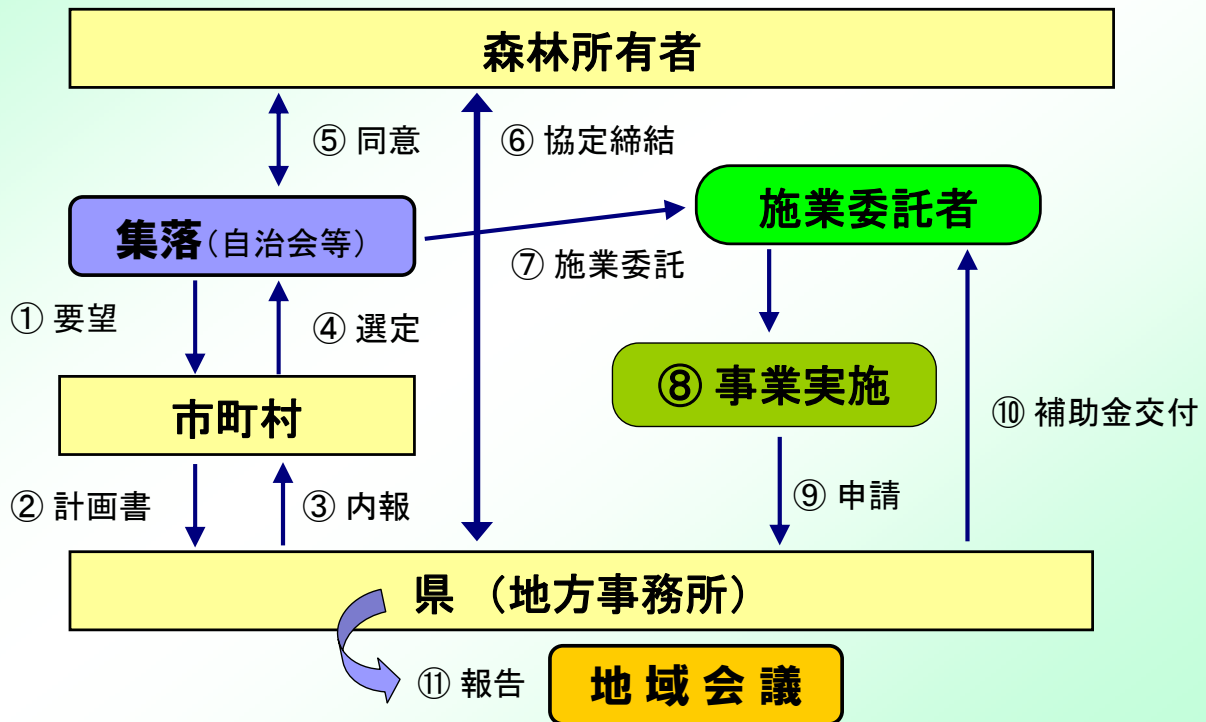
- 1 事業主体 森林組合、NPO法人、所有者の団体等
- 2 対象区域 集落周辺で市町村が必要と認めた区域
- 3 対象森林 10年以上施業が放棄され、緊急に機能の回復が必要な**1ha以上**のまとまりのある**3戸以上**の私有林
- 4 対象事業 間伐及び間伐に付帯する事業
- 5 補助率 9/10以内

主伐や森林以外への転用を20年間制限する協定を締結

平成20年度 2,000ha、予算額 404,325千円

森林整備補助事業の申請手続き

【森林税活用事業の場合】



高度間伐技術者集団育成事業

- 集約的な森林づくりの企画や所有者への提案等ができる人材、集中的な間伐の中核的担い手となる人材の育成を支援

- 1 事業主体 森林組合、林業者で組織する団体等
- 2 事業内容 施業プランナー、実践的林業機械総合オペレーターの育成支援や普及啓発活動
- 3 補助率 1/2以内

高度間伐技術者集団育成事業

■ 施業プランナーの育成

森林の管理・経営・企画、森林所有者への施業提案等ができる人材を育成

■ 実践的林業機械総合オペレーターの育成

高性能林業機械を活用し、低コストで効率よく間伐が実施できる人材を育成

■ 普及啓発

効率的な間伐技術の普及啓発活動を支援

長期施業受託や施業の集約化にかかる普及啓発活動を実施

平成20年度予算額 5,528千円

森林づくり推進支援金

地域における住民の意向や実情に精通している市町村が行う森林づくり活動の取組を支援

- 1 事業主体 市町村
- 2 事業内容 森林整備の推進
間伐材利用の促進
県民参加の促進 など
- 3 交付額 10/10以内(施設整備費 2/3以内)

平成20年度予算額 100,000千円

森林づくり推進支援金の事業内容

■ 森林整備の推進

- ・間伐補助事業の嵩上げ(拡充分)
- ・鳥獣被害防止緩衝帯整備
- ・松くい虫被害防除

■ 間伐材利用の促進

- ・公共施設等での内装木質化
- ・木製備品等の導入
- ・間伐材の教材等への材料提供

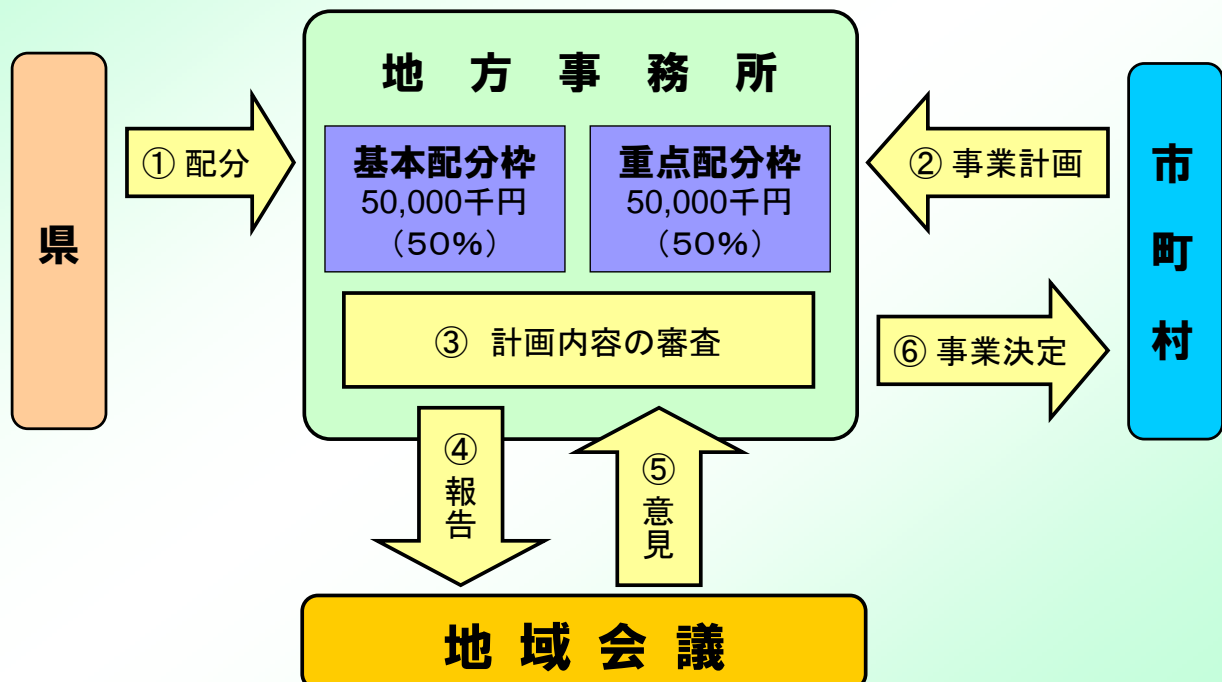
■ 県民参加の促進

- ・地域住民への普及啓発活動
- ・森林環境教育の実施
- ・住民等の森林づくり活動の支援

■ 特認事業

- ・上記以外で特に必要と認められる事業

森林づくり推進支援金の手続き



平成20年度 森林づくり推進支援金 地方事務所別配分額

地事名	基本配分枠		重点配分枠		計	
	(千円)	占有率	(千円)	占有率	(千円)	占有率
佐久	5,871	11.7%	7,569	15.1%	13,440	13.4%
上小	3,359	6.7%	3,730	7.5%	7,089	7.1%
諏訪	4,073	8.1%	3,628	7.3%	7,701	7.7%
上伊那	4,850	9.7%	4,494	9.0%	9,344	9.3%
下伊那	7,627	15.3%	10,004	20.0%	17,631	17.6%
木曾	2,825	5.7%	3,740	7.5%	6,565	6.6%
松本	7,127	14.3%	5,632	11.3%	12,759	12.8%
北安曇	2,747	5.5%	3,508	7.0%	6,255	6.3%
長野	8,396	16.8%	5,052	10.1%	13,448	13.4%
北信	3,125	6.3%	2,643	5.3%	5,768	5.8%
合計	50,000	100.0%	50,000	100.0%	100,000	100.0%

みんなで支える森林づくり推進事業

県民等への普及啓発活動や、地域会議等の開催、多様な主体による森林づくりへの参加促進等を実施

■ 広報・普及啓発活動の実施

リーフレット等の作成配布(全戸配布等)、シンポジウムの開催 など

■ 県民参加による「県民会議」・「地域会議」の開催

■ 企業等の森林づくりへの参加促進

企業等の社会貢献活動の誘導、
二酸化炭素の吸収・固定効果を評価する仕組みづくり

平成20年度予算額 24,206千円

県民会議・地域会議の設置及び開催状況



南信州地域会議(H20.4.30)

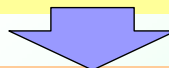


上伊那地域会議(H20.6.11)

みんなで支える森林づくり地域会議

(4月～7月に第1回を開催、年3～4回)

学識経験	6名、市町村	11名
林業団体	17名、森林所有者	16名
経済団体	11名、消費者団体	5名
環境・教育	6名、NPO等	12名
		計84名



みんなで支える森林づくり県民会議

(7月16日に第1回会議を開催予定、年3回)

学識経験(森林、経済、広報)	3名	
市町村(市、町村)	2名	
林業団体	1名、経済団体	1名
消費者団体	1名、ボランティア	1名
主婦	1名	計10名

みんなで支える森林づくり推進事業

■ 企業等の森林づくりへの参加促進

森林(もり)の里親促進事業

地球温暖化防止吸収源対策推進事業

カーボンオフセットシステム構築事業

みんなで支える森林づくり推進事業

森林(もり)の里親促進事業

県が仲立ちとなり、荒廃した里山や山村集落へ、森林整備や木質バイオマス利活用による二酸化炭素の吸収・削減に意欲的な企業等の社会貢献活動を誘導し、地域の活性化を促進



みんなで支える森林づくり推進事業

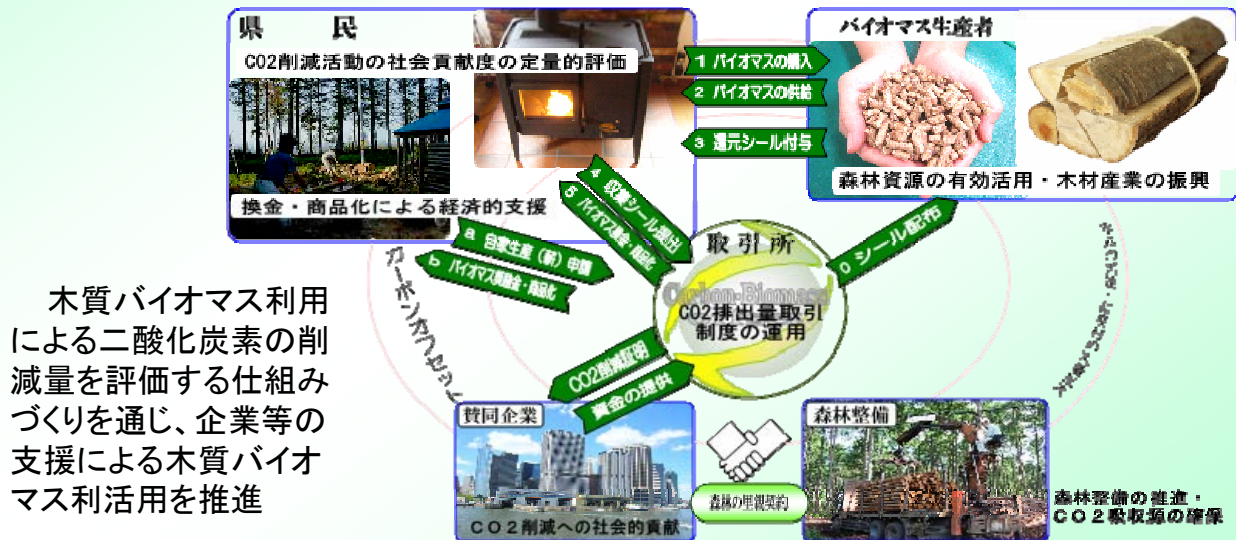
地球温暖化防止吸収源対策推進事業

森林整備による二酸化炭素の吸収量を評価する仕組みづくりを通じ、企業等による森林整備を促進



みんなで支える森林づくり推進事業

カーボンオフセットシステム構築事業



木育推進事業

- 次代を担う子供達や地域住民が里山や地域材に目を向け、森林づくりへの理解と協力を得るための取組を推進

- 1 事業主体 県、市町村、NPO法人等
- 2 事業内容 木育推進活動の支援
木育推進員の派遣
木育手引書の作成



木育推進事業

■木育推進活動の育成

県域：県内小中学生を対象とした手作り木育コンテストの開催支援
各地域：各地域での木育推進活動を支援

■木育推進員の派遣

各地域で行われる木育推進活動へ指導員を派遣



■木育手引書の作成

各地の成果を集約し、今後の手引きとなる冊子を作成

平成20年度予算額 7,000千円

里山整備モデル団地

◎ 公共施設等の近くや道路沿い等で、県民の目にふれやすい里山

◎ 本年4～6月頃から着手が可能な里山

12地区 232ha



「里山整備モデル団地」設置状況一覧表

地事名	団地名	所在地	計画面積	所有者数	整備着手
佐久	松井・常和	佐久市 松井	25ha	個人等15名	6月上旬～
上小	山田	上田市 塩田	7ha	個人 49名	6月下旬～
諏訪	有賀	諏訪市 有賀	11ha	個人 52名	6月下旬～
上伊那	南福地	伊那市 富県	6ha	個人 8名	5月上旬～
下伊那	吉田・出原	高森町 吉田	5ha	個人等6名	6月下旬～
木曾	大原・花の木	木祖村 小木曾	11ha	個人 36名	6月中旬～
松本	中山	松本市 中山	13ha	個人 30名	6月下旬～
北安曇	常盤	大町市 常盤	96ha	個人 100名	6月下旬～
	柵池	小谷村 柵池	32ha	個人 30名	6月下旬～
長野	信里	長野市 篠ノ井	9ha	個人 20名	6月下旬～
	雁田	小布施町 雁田	5ha	個人 10名	5月上旬～
北信	北信	栄村 北信	12ha	個人等14名	5月中旬～



佐久市 松井・常和団地 25ha



上田市 山田団地 7ha



諏訪市 有賀団地 11ha



伊那市 南福地団地 6ha



木祖村 大原・花の木団地 11ha



松本市 中山団地 13ha



長野市 信里団地 9ha



栄村 北信団地 12ha

豊かな森林を
次世代に引き継いでいくために

みんなで支える
ふるさとの森林づくり